

A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 10	19	百日咳	↑ 1	0
RSウイルス感染症	↓ 0	1	ヘルパンギーナ	↑ 78	44
咽頭結膜熱	↑ 25	10	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 15	22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 74	87	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 545	485	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 18	20
水痘	↑ 19	10	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 299	242	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 9	14	マイコプラズマ肺炎	↓ 2	4
突発性発しん	↓ 37	46	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓ 0	1

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 手足口病
 ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 感染性胃腸炎 : 菊池、山鹿、有明
 手足口病 : 水俣、菊池、八代、天草、有明、山鹿

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	3		6	21	107	4	57	4	16		6			18		1	1		
山鹿保健所					52		4		3		1		*	*					
菊池保健所			13	29	150	4	72	2	2	1	13	5							
阿蘇保健所				1	11								*	*					
御船保健所					22								*	*					
八代保健所	4		3	2	44		50	1	3		12								
水俣保健所	1					2	45		3		1	1	*	*					
人吉保健所				3	13	3	6	1	1		20	4	*	*			1		
有明保健所				6	97		26		8		3	5							
宇城保健所	2		1	3	24	4	4	1	1		8		*	*					
天草保健所			2	9	25	2	35				14								
計	10		25	74	545	19	299	9	37	1	78	15	0	18	0	1	2	0	0

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	1	1	2	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	25	0	5	11	3	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	0	1	1	4	5	8	11	9	13	8	4	6	0	4						
感染性胃腸炎	545	7	27	59	52	47	51	47	35	43	31	24	61	14	47						
水痘	19	0	2	1	4	4	5	1	0	1	0	0	1	0	0						
手足口病	299	3	31	104	51	47	29	18	9	4	1	0	2	0	0						
伝染性紅斑	9	0	1	1	0	2	1	0	0	3	1	0	0	0	0						
突発性発しん	37	2	13	19	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	78	0	8	37	14	11	4	1	1	0	0	1	1	0	0						
流行性耳下腺炎	15	0	0	0	1	3	2	4	2	2	1	0	0	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	18	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	5	1	3	0	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意しましょう

今週のA群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数は74件と、先週よりは減少しておりますが、幼児~学童のお子さんからの報告が多くなっています。警報レベルに達している地域はありませんが、菊池、天草、熊本で報告が多くなっています。
 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは、A群連鎖球菌という細菌が感染することにより、高熱・のどの痛みを主症状とする急性の感染症です。いずれの年齢でも起こり得ますが学童期のお子さんに多く、春から夏、及び冬の2つの時期をピークとして流行がみられます。主な症状はおよそ1週間ほどで改善しますが、リウマチ熱(主な症状として高熱、関節炎、紅斑、心炎)や急性糸球体腎炎(肉眼的血尿、高血圧、むくみ)などの合併症をおこすことがありますので注意が必要です。手洗い・うがいなどの一般的な予防対策が有効ですので、しっかり行って予防に努めましょう。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは

- 【潜伏期】
2~5日間
- 【感染経路】
せきやくしゃみなどに含まれる細菌によって感染します(飛沫感染)。また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることで感染します(接触感染)。
- 【主な症状】
突然の高熱、のどの痛みや腫れ、嘔吐がみられます。感染1~4週間後にリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの合併症を起こすことがあります。
- 【予防法】
手洗い、うがいなどの一般的な予防対策が有効です。咽頭痛がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課